



平成28年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月7日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 問合せ先責任者 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

1. 平成28年4月期第2四半期の連結業績(平成27年5月1日~平成27年10月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第2四半期	4,126	17.4	176	0.1	172	△5.9	108	△4.5
27年4月期第2四半期	3,514	14.1	176	211.4	183	292.8	113	305.9

(注) 包括利益 28年4月期第2四半期 103百万円(△8.6%) 27年4月期第2四半期 113百万円(304.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第2四半期	18.19	17.47
27年4月期第2四半期	19.19	18.98

(注) 平成27年5月1日付で1株につき5株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年4月期第2四半期	3,026	1,592	52.5
27年4月期	2,901	1,516	51.9

(参考) 自己資本 28年4月期第2四半期 1,588百万円 27年4月期 1,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年4月期	—	—	—	24.00	24.00
28年4月期	—	—	—	—	—
28年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成28年4月期の期末配当につきましては実施する予定ですが、金額は未定であります。

3. 平成28年4月期の連結業績予想(平成27年5月1日~平成28年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,488	16.7	467	24.3	458	17.0	301	21.2	50.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年4月期2Q	5,976,000株	27年4月期	5,971,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年4月期2Q	405株	27年4月期	405株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年4月期2Q	5,975,024株	27年4月期2Q	5,928,204株
----------	------------	----------	------------

(注) 平成27年5月1日付で1株につき5株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善など、総じて緩やかな回復基調となりましたが、消費者物価の上昇による個人消費の伸び悩みなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましては、美容室の新規開業店舗数が増加傾向となるなど回復の兆しが見られました。

そのような状況下、当社グループでは「開業支援」から「開業+経営支援」へのサービス領域を拡大することで更なる成長を図るべく、化粧品・消耗品などのリピート商材の商品ラインナップ拡充による「フロー&ストック型の収益構造への転換」や、採用・教育支援メニューの強化による「経営ソリューションサービスの充実」などの取組を継続的に実施して参りました。

平成27年10月末時点のアクティブユーザ（過去1年間に1回以上購入したユーザ）は82,355口座（前年同期比9,925口座増）に伸長し、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,126,858千円（前年同期比17.4%増）となりましたが、物販事業の売上総利益率の低下の影響もあり、売上総利益は1,322,129千円（前年同期比9.9%増）にとどまりました。販売費及び一般管理費の圧縮に努めたことにより、営業利益は176,817千円（前年同期比0.1%増）となりましたが、為替差損の計上もあって、経常利益172,686千円（前年同期比5.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益108,662千円（前年同期比4.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

物販事業売上高の約6割を占める当社の最も重要な販売経路である「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由の売上高は前年同期比約125%の伸長を続けており、平成26年12月に実施したスマートフォン用サイトの全面リニューアルに続き、平成27年6月にはスマートフォン用発注アプリ「スマート発注」をリリースし、モバイルによる受注促進に注力いたしました。また当社オリジナルのネイルブランド「Raygel」を日本製としてリニューアル投入するなどの、新商品開発にも努めてまいりました。一方で主に円安進行による原価率の上昇と化粧品・消耗品売上比率の向上もあって、売上総利益率が低下いたしました。また、連結子会社株式会社アイラッシュガレージの本格稼働にともなう投資コストが先行いたしました。

この結果、当事業の売上高は3,166,986千円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は204,973千円（前年同期比10.6%減）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しており、東京・金沢・福岡・大阪・名古屋の5つの拠点にオフィスを構え当社と連携して事業を展開しております。

デザイナーの増員や積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓や大型案件の獲得に努めたことから、当事業の売上高は811,203千円（前年同期比35.4%増）、セグメント利益は43,406千円（前年同期比75.0%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、採用支援サービス、教育サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、居抜き不動産仲介サービス、保険サービスや集客支援サービスなどが好調だったことから、当事業の売上高は148,668千円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は29,503千円（前年同期比81.6%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、2,676,436千円となりました。これは、主にその他流動資産の減少50,720千円があったものの、商品の増加120,228千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて15.8%増加し、350,182千円となりました。これは、主に投資その他の資産の増加42,680千円及び有形固定資産の増加10,121千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、1,261,838千円となりました。これは、主にその他流動負債の減少76,956千円があったものの、賞与引当金の増加74,274千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加5,288千円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて37.4%増加し、172,627千円となりました。これは、主に長期借入金の増加34,252千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて5.0%増加し、1,592,153千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少28,658千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加108,662千円があったことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13,667千円減少し、825,080千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、24,884千円（前年同期比85.8%減）となりました。これは、主にたな卸資産の増加147,807千円及び法人税等の支払額104,084千円があったものの、税金等調整前四半期純利益172,870千円の計上及びその他の引当金の増加75,527千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、53,349千円（前年同期比47.8%増）となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出32,000千円、有形固定資産の取得による支出15,506千円及び敷金保証金の差入による支出12,121千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、14,588千円（前年同期比77.6%減）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出60,460千円、配当金の支払額28,576千円及び短期借入金の返済による支出12,500千円があったものの、長期借入れによる収入100,000千円及び短期借入れによる収入15,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月9日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,748	825,080
受取手形及び売掛金	573,949	567,580
商品	878,732	998,960
仕掛品	17,693	45,272
その他	297,616	246,896
貸倒引当金	△7,739	△7,353
流動資産合計	2,599,001	2,676,436
固定資産		
有形固定資産	79,663	89,785
無形固定資産		
ソフトウェア	59,318	54,273
その他	116	116
無形固定資産合計	59,434	54,389
投資その他の資産	163,326	206,007
固定資産合計	302,424	350,182
資産合計	2,901,425	3,026,618
負債の部		
流動負債		
買掛金	502,251	503,157
短期借入金	12,500	15,000
1年内返済予定の長期借入金	90,744	96,032
未払法人税等	105,683	97,974
賞与引当金	26,570	100,844
製品保証引当金	15,848	19,539
受注損失引当金	141	1,395
資産除去債務	1,065	-
その他	504,851	427,895
流動負債合計	1,259,656	1,261,838
固定負債		
長期借入金	36,948	71,200
ポイント引当金	35,703	41,054
資産除去債務	23,094	23,473
その他	29,928	36,899
固定負債合計	125,674	172,627
負債合計	1,385,330	1,434,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,182	269,745
資本剰余金	220,449	221,012
利益剰余金	1,017,510	1,097,514
自己株式	△202	△202
株主資本合計	1,506,939	1,588,068
新株予約権	236	236
非支配株主持分	8,919	3,848
純資産合計	1,516,095	1,592,153
負債純資産合計	2,901,425	3,026,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
売上高	3,514,036	4,126,858
売上原価	2,311,513	2,804,728
売上総利益	1,202,523	1,322,129
販売費及び一般管理費	1,025,889	1,145,311
営業利益	176,634	176,817
営業外収益		
受取利息及び配当金	54	75
為替差益	4,111	-
受取手数料	-	3,724
その他	4,080	1,579
営業外収益合計	8,246	5,378
営業外費用		
支払利息	796	620
為替差損	-	6,540
その他	530	2,350
営業外費用合計	1,327	9,510
経常利益	183,553	172,686
特別利益		
固定資産売却益	-	184
特別利益合計	-	184
税金等調整前四半期純利益	183,553	172,870
法人税、住民税及び事業税	100,938	94,897
法人税等調整額	△30,754	△25,617
法人税等合計	70,184	69,280
四半期純利益	113,369	103,591
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△375	△5,071
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,744	108,662

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
四半期純利益	113,369	103,591
四半期包括利益	113,369	103,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,744	108,662
非支配株主に係る四半期包括利益	△375	△5,071

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	183,553	172,870
減価償却費	14,610	20,610
のれん償却額	529	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,534	△385
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,475	5,350
製品保証引当金の増減額(△は減少)	6,360	3,691
その他の引当金の増減額(△は減少)	60,394	75,527
受取利息及び受取配当金	△54	△75
支払利息	796	620
株式交付費	347	-
有形固定資産除売却損益(△は益)	-	△184
売上債権の増減額(△は増加)	△37,209	6,369
たな卸資産の増減額(△は増加)	△151,107	△147,807
仕入債務の増減額(△は減少)	75,170	906
未払金の増減額(△は減少)	△12,713	△26,018
前受金の増減額(△は減少)	46,111	△41,997
その他	34,732	60,030
小計	226,531	129,509
利息及び配当金の受取額	81	75
利息及び保証料の支払額	△843	△615
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△49,913	△104,084
営業活動によるキャッシュ・フロー	175,856	24,884
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△840	△480
定期預金の払戻による収入	2,400	-
有形固定資産の取得による支出	△13,836	△15,506
有形固定資産の売却による収入	-	210
無形固定資産の取得による支出	△9,454	△1,308
投資有価証券の取得による支出	-	△32,000
敷金保証金の差入による支出	△14,087	△12,121
敷金保証金の回収による収入	500	9,313
資産除去債務の履行による支出	-	△677
その他	△780	△780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,098	△53,349
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	15,000
短期借入金の返済による支出	△2,500	△12,500
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△52,608	△60,460
株式の発行による収入	11,352	1,125
自己株式の取得による支出	△106	-
配当金の支払額	△21,122	△28,576
新株予約権の発行による収入	236	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,251	14,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,005	209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	207,014	△13,667
現金及び現金同等物の期首残高	551,261	838,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	758,276	825,080

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,777,352	599,036	137,648	3,514,036	—	3,514,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,461	22,875	382	33,720	△33,720	—
計	2,787,814	621,911	138,031	3,547,756	△33,720	3,514,036
セグメント利益	229,175	24,797	16,246	270,219	△93,585	176,634

(注) 1. セグメント利益の調整額△93,585千円には、セグメント間取引消去6,782千円、未実現利益の調整額467千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△100,835千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,166,986	811,203	148,668	4,126,858	—	4,126,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,618	14,985	6,296	81,900	△81,900	—
計	3,227,605	826,189	154,964	4,208,758	△81,900	4,126,858
セグメント利益	204,973	43,406	29,503	277,883	△101,065	176,817

(注) 1. セグメント利益の調整額△101,065千円には、セグメント間取引消去9,987千円、未実現利益の調整額△1,192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,860千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。